

仙台白百合学園 学園報

Sendai
Shirayuri Gakuen
Campus Report

Vol.106

仙台市泉区紫山1-2-1
幼稚園: (022) 777-6777
小学校: (022) 777-3777
中学校: (022) 777-5777

令和4年
6月29日発行

<https://sendaishirayuri.net/>

キリストの愛が私たちが
駆り立てているからです。
IIコリントの信徒への手紙5:14



2023年度 園児・児童・生徒募集のご案内

詳細は学園ホームページをご覧ください。

幼稚園

Kinder-garten

お問合せ・連絡先
TEL:022-777-6777
E-mail:kinder-info@sendaishirayuri.net
<https://kd.sendaishirayuri.net/>
ロンちゃんBlogも
ご覧ください。



今後の行事日程

●園庭開放 7月 2日(土) 9:30~11:30
9月 3日(土) 9:30~11:30
おへやでモンテッソーリのおしごと体験もできます

●運動会
10月1日(土)
9:30~11:30
未就園児の
かけっこ参加が
あります。
(要申込み)



願書配布

10月 1日(土)~
9:00~17:00(土日を除く) ※郵送可。

入園説明会

10月 8日(土) 9:30~11:00
※要申込み(お子様と保護者)

保育見学会

10月13日(木) 10:00~11:30
※要申込み(保護者のみ)

願書受付・手続き

11月 1日(火) 9:00~12:00

小学校

Elementary school

お問合せ・連絡先
〒981-3205 仙台市泉区紫山1-2-1
TEL:777-3777
FAX:777-3778
<https://el.sendaishirayuri.net/>

申し込み方法

詳しくは本校ウェブペ
ージをご覧ください。上
記連絡先までお問い合
わせ下さい。



今後の行事日程

学校見学・イベント申し込み
随時受付中!!



願書交付

6月 1日(水)~ ※郵送可。

願書受付

併設 9月12日(月)~16日(金)
一般 前期 9月26日(月)~10月28日(金)
後期 11月1日(火)~12月 9日(金)

考查期日

前期 10月29日(土) 後期 12月10日(土)

中学・ 高等学校

Junior & Senior High School

お問合せ・連絡先
TEL:022-777-5777
<https://jh.sendaishirayuri.net/>
学園の日常生活をつづる「紫山日記」もご覧ください。

*個別の学校見学・進学相談は
お電話またはホームページ経由の
メールでご予約ください。
●6月下旬より受付しています

学園ホームページをとおして、学校の様子や試験に関する情報をお届けします。ぜひご覧ください。



小学生の皆さんが参加できる 中学校の行事日程

●中学校オープンスクール 7月16日(土)
●中学校・入試説明会 { 10月 8日(土)
10月22日(土)
●学校公開 10月11日(火)
●入試ポイント講習会 11月19日(土)

中学生の皆さんが参加できる 高等学校の行事日程

●高校オープンスクール 7月16日(土)
●学校公開 10月11日(火)
●高等学校・入試説明会 { 10月 8日(土)
11月 5日(土)
●英語リスニング講習会 11月19日(土)

学園においていただく行事では送迎バスを運行します。

中学校入試日程

..... 2023年 1月5日(木)

高等学校入試日程

推薦入試 2023年1月11日(水)
A日程 2023年1月31日(火)
B日程 2023年2月 2日(木) } 専願・一般

エンカレッジコース 通信制課程

Encourage Course

お問合せ・連絡先
TEL:022-777-6625
白百合エンカレッジ 検索



今後の行事日程

●学校説明会 ※いずれも午後より場所:本校
..... 8月20日(土)・11月12日(土) *転入学・編入学試験は毎月1回実施します。(12月まで)
●オンライン学校説明会 8月 6日(土) *個別の学校見学・進学相談は毎週金曜日午後に行っています!

出願期間

第I期 2022年12月1日(木)~2023年1月 6日(金)
第II期 2023年2月20日(月)~2023年3月 6日(月)

入学考查

第I期 2023年2月1日(水)・2日(木)
第II期 2023年3月15日(水)

仙台白百合学園

学校長よりご挨拶

種をまく

中学高等学校校長 藤田 正紀



学園記念日おめでとうでございます。今年も学園記念日を迎えられたことに感謝し、共に喜び合います。

今年度も始まるもなお新型コロナウイルスウィルス感染症の影響は残り、気をつけながら過ごす毎日が続いています。本校では、感染予防のため、毎朝の朝礼で聖歌を歌わずに唱えて味わうという日々が続けてきました。最初は自然に感じたものですが、その気持ちも徐々に薄れ、今では歌詞の意味や描かれている情景について考えたり想像したりする機会が増え、歌う時とは違った意味で脳を刺激しているような気がします。もっとも、言葉を司るのは左脳で、音楽などを担当するのは右脳という説から考えれば、右脳を使うことが少ないのはアンバランスかもしれません。それでも、毎朝の聖歌とお祈りが、私たちの意識を良い方向へ向かわせていることは間違いないでしょう。カトリック教会では五月を「聖母月」

としてしています。本校宗教科が作成している聖歌と聖句の予定表にもそれはしっかりと反映されており、五月の聖歌は「あめのきさき」「あおぼわかげ」「あわせなかつマリヤ」となっています。唱えてみると、それぞれの歌詞の聖母マリヤを讃える部分がよりはっきりと頭に残ります。

聖句についても聖母マリヤが登場する場面が選ばれています。「おめでとう、恵まれた方、主があなたと共におられる。(ルカによる福音書一章8)」「マリヤはこれらの出来事をすべて心に納めて、思いめぐらしていた。(ルカによる福音書8:22)」などです。前者は天使ガブリエルがマリヤに受胎を告げた時の言葉として有名です。レオナルドダヴィンチを始め多くの画家がこの場面を描いています。聖書の知識なしにこの絵画を眺めても恐らく見どころがわかりません。聖書のどの場面かわかると、絵画を見る眼が変わります。絵から様々な想像ができます。絵からストーリーを読み取ることができ

ます。私は、聖句や聖書の知識は芸術の鑑賞力や想像力を大いに高め、のちの人生をとて豊かにしてくれる、と常々思っています。日常的に聖書や宗教に触れることができる環境が校内に整えられていることの意味は大きいのです。

学校の主役は子どもたち

小学校校長 早坂 博之



皆様、こんにちは。小さく柔らかな葉が、一雨ごとに大きく色濃くなっていくこの季節。いかにも重くたい石や金属で覆われた景色が、柔らかで生命力に満ちた草木に覆われていくことに、命がもつ勢いを感じずにはいられません。

さて、小学校では五月六日に、ごもの日祈りの集いを行いました。聖堂に全校児童が集まったのは実に三年ぶりのことです。今回は神父様をお呼び

することもでき、子どもたちも久しぶりに祝福をいただくことができました。聖堂に静かに響く神父様の声や子どもたちが唱える共同祈願を聞きながら、子どもたちと共に折れるこの時間が、愛おしく贅沢な時間だったことを改めて思いました。

遊って四月。入学式も二年ぶりに小学校の体育館で行いました。三十六名の一年生が、正面にちよこんと座る姿に大きな感慨を抱かずにはいられませんでした。そして運動会も、ほぼ、コロナ以前の形で、保護者の皆様にも参加してもらいながら行うことができました。

学校は、少しずつ以前の姿を取り戻してきています。その姿に少しほっとしながらも、安穩としてはいられません。なぜなら、学校が直面している課題はコロナ禍ばかりではないからです。この状況に対応しながら、個別最適化、協働的な学びを実現させていかなければなりません。これは二年前に完全施行された指導要領の実現に向けた手段というばかりでなく、これからの未来を生かす子どもたちにとって必要な資質を育むための学びなのです。

これらの推進に欠かせないのがタブレット端末です。これまでの二年間、コロナに対応しながらもこれらのことを念頭に置き、模索しながら教育を進めてきました。その中で改めて思ったことは、学校の主役は子どもたちで、自立した学習者に育て上げていかなければならないということです。これは教師が教壇に立ち、数十人の子どものために一言指導する授業スタイルが当たり前で、教師と児童は教え教えられる立場といった

構図が変わっていくことを意味します。子どもたち自身が課題を持ち、学びの内容を広げていったり深掘していったり、学びを自らコーディネートしていく力を育て上げていかなければならないとつくことを。その模索を続けて今年度も三年目になります。こうした先にこれまでとは違う、学校の新しい形が生まれてくるのだと考えます。何よりも、子どもたちが学校の主役であることを忘れず、その実現に向けて今年度も進めてまいります。

どうぞ、よろしく願っています。

園児との関わりのなかで

幼稚園園長 石岡 順子



学園記念日おめでとうでございます。幼稚園は新しいお友だちを迎えて進級児達と共に令和四年度が始まり、約三ヶ月が経ちました。

幼稚園のいろいろな場所で毎日見かけるのは、進級児が小さい子のお世話をよくしているということです。上靴や外靴を、一生懸命手伝って履かせたり不安そうにしている新入園児の手をつなぎながら「ママに会いたんだよね、私も赤組(年少)の時そうだったよ」と小さい子の気持ちを理解し優しい眼差しで寄り添ってあげる様子をよく見ます。そんな子どもたちの世界はなんて素敵で世界なんだろうと思います。生まれてから

勤続二十五周年

幼稚園教諭 佐藤ひとみ



この度、永年勤続二十五周年を迎えることができました。これまで幼稚園の園長先生をはじめ先生方、保護者の皆さま、学園の皆様は沢山支えていただいたからこそこの日を迎えることができましたと思います。ありがとございませ

「自分でやる」という気持ちになって、どっぴやって手を動かすのかわからなくなり、途中であきらめてしまいがちなとき、「ごまかされたね」と認め、子どもが自力で自分のことができるように日常生活の行動を繰り返し練習しながら、自らの気づき意識を育ててきた喜びを味わうことで自立を促していきます。

平成二年から幼稚園にお世話になり五年勤めた後、一年休職し、その後復職して今年二十五周年を迎えることとなりました。その頃の仙台白百合学園は幼小中高が青葉区本町にあり、ちょうど現在の東北電力がある所に立っていました。当時から縦割り保育で二クラスあり、一クラスに異年齢の子ども達が沢山在籍し教師三人で保育を行っていました。新任だった私は、サブで援助しながら先輩方の保育を間近で見て覚え、今考えると下積みを経験するにはとてもよい体制だったと思います。環境面で印象的だったのは園庭で、こじんまりとしましたが、仙台の中心部にいることを忘れては、自然豊かで小鳥が囀り、とても心地よい場所でした。子ども達が大好きだったのは、ドカンでそれはひととき大きな物でした。その中で友だち同士で話をしたり、暑い日は涼む憩いの場だったり、時には上によい登ってジャンプしたりと使い方は様々でしたが大人気で今でもその光景が目に残ります。行事では子ども達のお別れ会で寸劇をしたり、様々なキャラクターになったりと身体を張って行った思い出があります。特に現在の園長先生と一緒に、着ぐるみをきてアンパンマンやバイキンマンを演じたり、自前のかつらや衣装をつけてお姫様と王子様になりきったりと芸人顔負けの演技をし、子ども達の心を掴む為に頑張りました。すべては子ども達の喜び姿を見たいこと、幼稚園が楽しいところ、居心地の良い場所だったと思いついてほしいから。これまで大好きな子ども達の笑顔に囲まれて日々過ごしてきたことを本当に感謝致します。

中・高オーケストラ活動報告 ～平和への祈りをこめて～

第十三代ゆりオケ団長 高校三年 佐々木 莉奈



ウクライナの平和を願うリレーコンサートでは、二曲を演奏し、そのうち一曲は元教頭先生である土倉先生と共演しました。会場に土倉先生のフルートと弦楽合奏の美しい音色が響いていたという感想をいただき、平和と反戦への想いを音楽を通して表現し合い、音楽の持つ力の大きさを感じる機会となりました。

マイナビでの演奏は、私たちが経験したこともないほど大きな会場での演奏でした。「パプリカ」と「ソラツキー行進曲」の二曲を演奏し、その様子がスタジアムの大スクリーンに映し出され、マイナビのサポーターだけでなく相手チームのサポーターまでもが手拍子で演奏を盛り上げてくださり、会場が一体化したような感覚を味わいました。サッカーの試合での演奏という貴重な経験をしただけでなく、団員一人ひとりが音楽を心から楽しむ時間となり爽やかな一日であったと感じています。

多くの演奏の機会をいただきましたが、たくさんの方々の支えがあったからこそ成り立った演奏だと感じています。七月の定期演奏に向けて、「心に届く演奏」を意識して練習に励んでいきたいと思えます。



中学校団長 中学三年 松永 瑛美

『第九回パチカンより日本へ祈りのレクイエム』で「心のこもった音楽のもつ力」を改めて感じました。このコンサートは東日本大震災で被災された方々の心の平和をお祈りすることから始まり、音楽を通して希望を届きたいというメッセージを感じました。

練習している時、私は自分の感じたことを音で表現する難しさを知りました。本番では音楽の喜びや楽しさを感じながら、平和への祈りの気持ちを含めて演奏しました。これからは作曲者の伝えたいことを考え、表現できるように、そして音楽を聴いて感動した経験を忘れずに、もっと練習していきたいです。



今年度も、子ども達一人ひとりを大切に、「子ども達と一緒に驚きや発見の感動を分かち合いたいと思います。」

仙台白百合学園幼稚園

2022年度
スクールバス
路線図



幼稚園



年長児に
インタビュー

- Q1 お手伝い大好き!
- Q2 お気に入りの絵本



①おせんたくをほすのがたのしいからすき。おかあさんときょうちゃんとおたしのをほすよ。
 ②このうえのラパンネルかみがながくてかわいくてまほうがつかえるから。わたしがまほうをつかえたら、けがとかをなおしたいな。(かりの ゆうり)

①おせんたくのおてつだいが好き。たむのはむずかしいからやったことないけど、こんどやってみたいな。
 ②えほんぜんぶすき。いちばんすきなのは『デリシャスパーティーキアラ』のほん。プリキュアがとってもかわいから。(なかにし かのん)

①いちばんすきなおてつだいはおそっじ。ゆかをコロコロしてきれいにすよ。ママもよるんできれるよ。
 ②『シンデレラ』われたようふくがまほうできれいなみずいろのドレスにかわるから。かみのけのいろもかわいよ。(むつろ るな)

①おとうさんのくつしたをせんたくかみにいれるおてつだいをしています。
 ②『おさるのジョージ』のほりできるから。ほくもジョージみたいにかきまはりしたり、りんごをとったり、かきまはりしたり、ジャンプしたりしたいな。あしもはやいよ。(てらさわ あつむ)

①おとうさんのくつしたをせんたくかみにいれるおてつだいをしています。
 ②『おさるのジョージ』のほりできるから。ほくもジョージみたいにかきまはりしたり、りんごをとったり、かきまはりしたり、ジャンプしたりしたいな。あしもはやいよ。(てらさわ あつむ)



①おふろそっじのおてつだいい。スポンジであわでピカピカにするよ。
 ②ポケモンずかん。どういうポケモンがいるかとか、どれがつよいポケモンなのかとか、しらべられるからおもしろいよ。(ゆき はるき)

①ママのおてつだいをするのがすき。そうじかけをするよ。そうじはおもいけど、きれいにするとママが「ありがと」っていってくれてうれしいよ。
 ②たかさんのえほんをよんでいるよ。むかしはなせんでいすき。『ももたろう』のおにたいじでたかとうところがすきだよ。(よしむら みぶき)

①ようちえんでせんせいのおてつだいをするのがすき。おせんたくもするのがすき。おせんたくもするのがすき。
 ②ももたろうのあかちゃんかきまはり。ほくのどうぶつあかちゃんもかわいからうれしいよ。(よこた あやね)

おしごと紹介



感覚教具のおしごとにはたくさん先生の教具があります。今回紹介するおしごとは、「はめこみ円柱」です。木製のはめ込み台に十個ずつつまみ、そのついた円柱がはめ込まれている教具で、四組あり、それぞれ次元の異なる漸次性を持っています。文字で説明すると難しいおしごとのように感じますが、見た目はとてもシンプルで、子どもたちは夢中になって取り組むおしごとの一つです。

つまみを親指、人差し指、中指の三本指でしっかりとつまみ、円柱を台から出していきます。その時、子どもたちはたくさん発見をしていきます。「さっきと違う！」「ちよっと軽い！」「細い感じがする！」等、こんなことを言葉にする子や、黙ってじっくりと感覚的に違いを味わっている子、それぞれです。高い・低い・太い・細い・大きい・小さい・浅い・深いを教具から自然と教わっていきます。

台に円柱を戻す時も、二本指で円柱を持ち上げ、穴をよく見て大きさを確認しながらはめていきます。違った円柱を入れてしまった時も、自分で間違いに気づき、自己訂正をすることが出来ます。全部の円柱がきれいに入った時にはほっとしたような一人一人の達成感が見られ、達成感を味わっています。

感覚の敏感期の中にいる子どもたちは、はめこみ円柱のおしごとを通して特に、手(触覚)・目(視覚)を使って様々な感覚を研ぎ澄ませていくのです。



一年生 / 生活科

学校たんけん

今日は、一年生と学校たんけんをしました。分かりやすくせつめいをしたり、たまにうしろの子に「せんいんいる？」ときいたりしました。きょうしつに入るときは、ノックをしたり、いまなをしているのか、せつめいしたりしました。とてもたのしかったです。



(ほろり口 ななみ)

さいしょは、少しドキドキしました。そのあとからのしくなってきた。二かいに上がるのとたくさんの方がじゅぎょうをしていて、そのへやをしゅうかいするときにドアをノックするところがきんちゅうじました。ぜんぶのへやを一年生につたえられたので、一年生もたのしそうでした。

(小出 み月)

一年生は「おいで」「や」「こちだよ」といったら、ちゃんときてくれる。しゃ

んたついでくるから、「ごいん」「つれいな」と思いました。(石川 つぐみ)

きょうの二年生も学校たんけんがたいへんだったなあとおもいました。とてもたのしかったです。

(あさの ゆりな)

一年生にせつめいの文をいっているときに、じぶんも学べました。

(ヤマト のあ)

一年生をたんけんにつれていくとき、とてもきんちゅうじました。でもなれてきて、ごときがパアッとほれましました。ほうそうじつで、「このスイッチなめ」「こか」「これ、どうつかうの？」とかいろいろはなしてくれました。うれしかったです。これからも、一年生にやさしくしたいです。(ちば たま子)



五年生

田植え

五月十二日の午後、学校から歩いて二十分ほどのところにある高橋の実習田に、五年生が行ってきました。

初めての体験でしたが、一人ひとりで、良い学びになったようです。



そのうち、だんだんとなれてきたみたいで、おどろくように歩けました。こしがいたくなかったです。

田植えをする大変さを知ることができて、身につきました。

(伊藤 瑠花)

いねを植えてみると、楽しいと思えました。みんなを見てみると、「きゃあ」と言っている人もいました。とちゅうからは「楽しい。」と言っている友達もいました。むちゅうになつてやっていると、いねがなくなっていたことに気が付きました。田植えはぶじに終わりました。

(鈴木 暁子)

高橋さんのお話が始まりました。そこで、私が一番に残ったものは、昔のお米を作るさいに

使った道具です。木で作ったとても大きく、作業するのがむずかしい



そんな道具や、小さく田んぼの中をぐるぐるしなければならぬような道具もありました。私は、今の道具はとっても便利になったことがわかりました。

(榎引 咲良)

今回の田植えを体験して、米作りが思った以上に大変だということがわかりました。米を作ってくれている人たちに感謝の気持ちでいっぱい。私は、小さいころから、パンよりご飯が大好きだったので、これからもお米を大切に食べたいと思います。

(鎌田唯花)



プログラミングクラブより

今年度より、小学校の新しいクラブ活動として、プログラミングクラブが始動しました。指導者は、小学校の河野大空先生と長田のぞみ先生。

現在は、本格的なプログラミングに入る前に、タイピングの力を養成しているところですが、今後、ゲームのプログラミングに入る予定でいます。

部員みなさんに、活動への意気込み等を聞きました。



私は科学館で、ロボットを動かすプログラミングをしたことがあって、それがおもしろかったので、クラブに入りたいと思いました。

(四年 伊藤 悠桜)

私は、自分のゲームを作ってみたので、クラブに参加しました。まだプログラミングはやっていないけれど、

仕組みを知ることが楽しそうです。初めての時、タイピングゲームの寿司打をやった難しかったので、タイピングももっとうまくなりたいです。

(四年 木村 麻子)

私がクラブに入ったのは、ロボットを動かしたり、パソコンなどの機械をうまく使えるようになりたかったからです。ロボットを動かすのは、自分が思った通りに動いて楽しそうだし、私はパソコンなどを使ったりするのがうまくないので、うまくできたらおもしろいと思います。

(四年 盛 結菜)

単純に楽しそうだったから入ってみたいかなと思いました。初めてのクラブが終わった時、「お、終わったー。いやー、おもしろすぎるー」単純に楽しかったです。

(四年 山口 結子)

私は、学校でぶよぶよのプログラミングをしたことがうれしかったです。いつか寿司打のようなゲームを作りたいです。

(四年 湯浅 光愛)

私は、パソコンやiPadを使うのが、学校で初めてだったので、もっと触れてみたいなと思い、入りました。最初はどつすればいいのかわからなかったが、いろいろな楽しいゲームやおもしろいゲームなどを先生に教えてもらい、不

安な気持ちですべてふっとびました。これからはもっと難しいことをみんな(先生も)と一緒にやっていきたいです。

(五年 鈴木 夢愛花)

タイピングが苦手だったので、クラブに入りました。マインクラフトをやってみたいです！

(五年 東條 世菜)

プログラミングクラブと聞いたとき、珍しいクラブだからどんなことをするのだろうかワクワクしました。また、パソコンを使っているいろいろなものをプログラムするのかなとも考えました。実際参加してみたら、タイピングゲームもして、こんなこともするんだなあ、おもしろそうだなあと思いました。また、プログラミングは友達と協力しているいろいろなことを達成するので、周囲と協力する大切さを改めて学ぶことができるなあと思いました。先生が「チャレンジ」とおっしゃっていたので、失敗を恐れずがんばろうと思つて頑張りました。

(六年 日比野 可於)



三年生 / 理科

仙台市科学館見学



地しんには、弱いのと強いのがあって、地面の下にあるものがゆれて、地しんが起きるといふことを学びました。

(菅原 葵)

アフリカソウのはは、六しゆるいに分けられています。小、中、大とく大に分けられています。アフリカソウのはを見て、こんなにあんなだなあとおどろきました。

(菅場 柚月)

たくさんおもしろい、すごいものがあって、そのしくみや錯視というものも知ることができました。また、しんさい後のえいそうなどを、どんなに大へんだったのかを学びました。

(阿部 珠季)

エイムスのへやは、ゆかがななめになっていました。ゆかがななめなだけに、小さく見える人

と大きく見える人がいるのはなぜだろうと思いました。(宮里 美宇)

さいしょに、たつまきはつ生をうちを見に行きました。たつまきのまん中はきりのようなものはありませんでした。あながあいていてふしぎだと思いました。

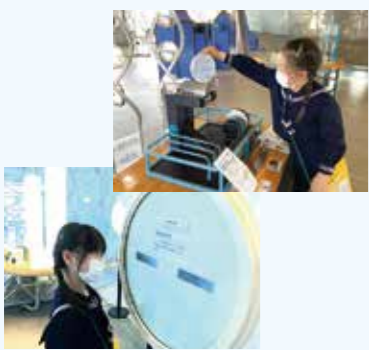
(高橋 紗瑛子)

音を見に行くと、ぎんの物体が二つあり、一つをさわると何もおきませんが、どっちもさわると音がしました。原理は、人間には電気がながれていて、ぎんの物体が電気をあつめると音を出すということなんです。

(中村 美百)

きょうみをもったものは、光る石です。この広いせいかいには光る石がたくさんあってすばらしいと思います。たぶん、その石にはラジウムというものが入っていると

(山下佳紀)





皆さんの協力で感謝します！

四月二十五日から二十八日までの四日間、私たちはウクライナ人道危機支援募金を行いました。

ロシアの軍事的侵襲による避難民の方々は多く、ポーランドには約二百万人いるのが現状です。そこで、仙台白百合学園と交流のあるポーランドのサンスター日本語学校の奉仕部を通して避難民の方々の生活必需品購入のため、この募金活動を行うことになりました。中学・高等学校で行われた全員募金、職員室や廊下での募金、そして小学校からの募金を合わせて集計したところ、総額が二十万円となりました。一人ひとりが役に立ちたい、助け手になりたいという気持ちを持ったからこそ集まった金額だと思います。

募金には、奉仕委員や生徒会総務役員、先生方など、たくさんの方々の協力がありました。ウクライナの方々に協力してくださった方々の想いと共に、集まったお金が届いてほしいです。

中・高生徒会
ウクライナ
人道危機支援募金
高校三年 柴田 明枝

探究活動

～マイノリティ=マジョリティを通して～

「仙台防災未来フォーラム」に参加しました！



ピクトグラムの完成に向けて活動しています！

私たちは“全世代へのLGBTQIAの周知と理解のために”を目標として探究活動を進めてきました。まず始めに、私たちはLGBTQIAの方々のお手洗い事情に注目しました。そこでTOTO様にコンタクトをとり2度のオンラインミーティングを行い、トイレのピクトグラムについてのお話を伺いました。その後、ミーティングで伺ったアンケートを元に校内アンケートを実施。LGBTQIAについての認知度を知ることができ、今後の活動の具体的な方針を定めることができました。昨年12月にはみやぎのこども未来博に出場し探究活動についての発表を行いました。また仙台市の職員の方からの取材を受け、2022年2月の仙台市政に私たちの活動が掲載されました。3月には仙台防災未来フォーラムに出場し、震災時におけるピクトグラムの活用方法についての発表を行いました。今後はLGBTQIAの方々の周知を表すピクトグラムの完成に向けての活動を予定しています。最善の結果を残せるように職員一同頑張っています。 高校2年 尾崎 和花

通信制課程

エンカレッジコースへの入学 ～夢に向かって～



9年間通い慣れた白百合学園でしたが、通信制という新しい環境で勉学に励む方法を選択したため、緊張感と「これからどんな生活を送っていき成長していくのだろう」という期待を胸にエンカレッジコース入学式を迎えました。

入学して初日はまだこの環境に慣れていなくて、新しい同級生ともあまり会話をすることができず少し緊張していましたが、周りの先生方がわからないことやシステムなどを優しく教えてください、同級生

のみみんなとコミュニケーションをとる時間を作ってくださいました。今は自分から同級生たちと楽しく会話できるようになり、安心した気持ちで登校しております。今後は、キャリアデザイン講座などの楽しく学べるイベントを通して、友人との距離をさらに縮められたらいいなと思っています。

私は勉学に励みながらも将来の夢に近づくためにエンカレッジコースを選択しました。自分の夢にも向かいつつ、勉強の基礎を学べることはとても良いことだと思っています。今後も勉学と習い事の両立を目標に、充実した学校生活を送ってまいります。

エンカレッジコース 1年 小林 りりあ

県大会出場

第71回 宮城県高等学校総合体育大会 第71回 宮城県中学校総合体育大会

<p>陸上部</p> <p>100m走 高橋 葵(高2)</p> <p>4x100mR 藤巻 陽菜(高2) 高橋 葵(高2) 石戸 彩夏(高2) 小野 紗々(高2)</p>	<p>卓球部</p> <p>個人 遠藤 愛佳(高1) 町田 来夏(高1)</p> <p>ソフトテニス部</p> <p>団体 佐藤 真由子(高3) 木村 愛佳(高3) 粥川 未爽(高2) 石橋 菜花(高1)</p>	<p>バドミントン部</p> <p>シングルス 室井 和佳(中3)</p> <p>ダブルス 金子 奈央(中3) 佐藤 七海(中3)</p>	<p>新体操部</p>	<p>ソフトテニス部</p> <p>シングル 高橋 凜桜(中1) 齋藤 ひまり(中1)</p>
---	--	--	--------------------	--

全国大会出場

第46回 全国高等学校総合文化祭「とうきょう総文2022」出場決定

<p>小倉百人一首かるた部門 かるた部 小形 愛美(高3)</p>	<p>姉妹で出場 します!! 団体戦 大沢 希(高1)</p> <p>個人戦 大沢 巴(高3)</p>	<p>ビデオメッセージ部門 放送部</p>
---	---	---------------------------

放送部 NHK杯全国高等学校放送コンテスト 全国大会出場決定

中学・
高等学校

Junior & Senior High School

中学二年

久慈市 自然教室

五月二十六日～二十七日

中学二年 川口 鼓子

新入生の抱負



中学1年 金子 桜愛

桜のつぼみが膨らみ、紫山にも春の訪れを感じるようになった中、夢と希望に満ちた私たちの中学校生活がスタートしました。このような状況下で、あの良き日を迎えてくださる先生方、家族の思いに、改めて気が引き締まると同時に、胸がいつぱいになります。突然の新しい生活様式により、不安な日々を過ごす中だからこそ私達は知るべきこともありました。今まで多くの方々に支えられ、愛されてきたということ。当たり前のように過ぎていた日々が、どんなに尊いものなのかを知ることが出来ました。この感謝の気持ちを忘れず、今、私達がやるべき事に精一杯取り組んでいきたいです。

新しい生活になり、選択しては迷うこともありますが、皆と協力して実りある中学校生活になるよう努力して参りますので、宜しくお願致します。



高校1年 加来 あい

新しい出逢いを迎え、私を含めた入学生六十三人で、毎日を過ごす中で、高校生としての自覚を少しずつ感じています。先生方や先輩方に温かく受け入れて頂いたこと、そして今までも支えてくれた家族に心から感謝致します。これからの三年間、様々なことに挑戦していくにあたり、自分一人の力では困難なこともあるでしょう。そんな時は仲間と助け合いながら乗り越えていきたいと思っております。互いに良い影響を与え合いながら、これからの三年間を充実したものにしていきたいです。

仙台白百合学園に関わる様々な人々によって築き守られてきた伝統ある仙台白百合学園高等学校の生徒としての誇りを持ち、校訓である「従順」「勤勉」「愛徳」の精神を身につけ、白百合の花のように、凛とした強く自立した女性、身近なことから世界にも視野を広げ、社会に貢献できるような女性を目指して、日々努力してまいります。



みんなで協力しながら【白百合の森】作りに挑戦

一日目のトレッキングでは、木の豆知識や、樺の漢字の由来などを知ることが出来ました。平庭高原には白樺が31万846本あり、白樺の樹皮は成長するにつれて茶色から白くなるということにも驚きました。トレッキングの途中では、昔短角牛が塩や物資を運んでいた「塩の道」にちなんだ道具が残っている場所もあり、久慈市のガイドの方に自分から質問をすることでたくさん学ぶことができました。これからも自ら学べるようになりたいと思います。

二日目は白百合の森作りでした。作業は大変でしたが、みんなと協力したらあっという間に終わりました。この二日間、いつもとは違う生活をする中で、あらためていつももある当たり前前の生活に感謝したいと思いました。

最後に平庭山荘の方がお話ししてくださいました。三つの感、「感謝感・感動」の言葉と、この学年で行ったからこそ学べたことを忘れずに、自然教室で経験したことをこれからの生活に生かしていきたいです。とても学ぶことの多い楽しい二日間でした。

～ バイオ産業で活躍する先輩からのメッセージ ～



科学技術の発展に
貢献したい想いから

タカラバイオ(株)
船山 真理子
2011年度3月卒業生(高校64回生)

高校を卒業し関西に来て10年目になりました。現在私は研究用試薬や治療薬の品質確認を行う品質管理業務に携わっています。昔からプランクトンや微生物に興味があり、高校卒業時は将来研究者になると意気込んで大学に入学しましたが、様々な授業を受けるうちにウイルス学や免疫学が面白くなりました。その結果、学部生の時はウイルスと免疫の関係性についての研究に携わり、さらに大学院では免疫学についての知見を深め修士課程を修了しました。その後、博士課程に進学するか迷いましたが、自分たちの研究を

支えている研究用試薬や機器を提供する側に立ち、科学技術の発展に貢献したいという気持ちが強くなったため、企業に就職することを決めました。入社後はなんの巡り合わせか、品質管理の中でも微生物試験を担当するチームに配属され、学生時代に培った研究に必要な考え方や技術の基礎を活かして仕事をしています。

仙台白百合学園に通ったのは高校3年間だけでしたが、振り返ってみるとこれまでの学生生活で一番楽しい時間だったと思います。良きクラスメイトや大きな愛情を注いでくださる先生方、自然豊かな学び舎に囲まれ、仕事をする上でも大切な誠実さやコミュニケーション力を育むことができました。

高校は将来について考える機会が増える時期になります。明確な夢があるもよし、何になりたいか悩むのもよし、どんな選択肢を選んでもそれが最後ではありません。様々な経験を積み自分の視野を広げると、新たな道が見えてくることもあります。学生という時期だからこそできる経験をたくさん積んで、自分の糧としてください。

教育実習を終えて

東北芸術工科大学 美術 河野 歩花

中学と高校両方で美術を担当させていただきました。実習は、毎日が初めての経験と新しい出会いの連続で、大学では得られない多くの学びと喜びがありました。6年間過ごした母校で「教師」として3週間過ごし、日々生徒と向き合い続ける先生方の姿から、教師という仕事の大変さや責任の重さ、そして面白さを実感しました。また、生徒の皆さんとの関わりが私にとって一番の楽しみで、毎日笑顔と元気をもらっていました。先生方や生徒の皆さん、本当にありがとうございました。



仙台白百合女子大学 公民 相澤 虹

2週間という短い期間でしたが、たくさんご指導くださった先生方、快く迎え入れてくださった生徒の皆さん、本当にありがとうございました。大好きな母校にこのような形で戻ってくることができ、とても嬉しかったです。皆さんや先生方と関わりが深い2週間を過ごし、より白百合への愛が深まりました。皆さんの学校生活が、いつも笑顔で溢れ、かけがえのないものとなりますように。一生忘れられない2週間を本当にありがとうございました。

上智大学 宗教 小松 文子

こうして無事に3週間の実習を終えることができましたことを感謝申し上げます。実習に行くまでは自分で務まるのか不安でしたが、丁寧に指導して下さった先生方や声をかけてくれた生徒の皆さんのおかげで実習生活を送ることができました。教育は「教える、育てる」という字からなっていますが、これは教師から生徒への一方通行的な学びではなく、生徒とともに学び、学問を育むという在り方を示していると思います。この学園で学んだことを糧に残り少ない大学生活を励みたいですね。

津田塾大学 地歴 新沼 麻由香

高校時、お世話になった母校での教育実習は想像していたよりもずっと大変でしたが、その分、やりがいも実感できた2週間となりました。今まで生徒の立場から見ていた「教師」という職業を、今回先生側の立場からホームルーム運営等、授業以外の仕事を多岐に渡って行ったことは私にとって貴重な経験となりました。実習を受け入れて下さった先生方はもちろん、生徒達にも多く助けていただきました。まだまだ未熟な私を受け入れて下さり、本当にありがとうございました。

上智大学 英語 佐藤 季

中学1年生、中学3年生Aグレードの英語を担当させていただきました。この3週間は慣れないことの連続で一筋縄ではいかないことも多々ありましたが、様々な人に支えられながら実習に取り組むことで教育現場でしか知り得ない知識や技術、そして教えることの喜びを知ることができました。この貴重な経験を糧として、これからも邁進していく所存です。改めてお世話になった先生方や生徒のみなさんに感謝申し上げます。

新任紹介

幼稚園 教諭 伊藤 夕海	小学校 教諭 小笠原 卓	小学校 教諭 鬼頭 章太	小学校 助手 ベジマ・ライアン
小学校 助手 村上 アリソン	中学・高等学校 養護教諭 菅澤 麻子	エンカレッジコース 教諭 黒石 めぐみ	エンカレッジコース 教諭 板宮 千尋

退職された方々

幼稚園 教諭 加藤 綾夏 囃 託 千田 京子	
小学校 教諭 清水 明美	
中学・高等学校 教諭 大和田 美子 (講師として勤務) 駒田 久美子 鉢呂 智子 河 えりか (講師として勤務) 平岡 静香 富永 是親 中川 靖之 (講師として勤務)	
エンカレッジコース 教諭 鈴木 有子	

アヴニール(未来)募金のお知らせ

300年以上にわたり受け継がれてきた白百合学園の設立母体であるシャルトル聖パウロ修道女会の「奉仕の心」を繋いできた仙台白百合学園は、2018年に創立125周年を迎えました。繋いできた建学の精神を身に着けることで、各時代のニーズに応えながら、社会に貢献できる人材を明治、大正、昭和そして平成と輩出して参りました。平成10年4月には緑深い泉区紫山に移転し、明るい広々とした校舎で生徒・児童・園児たちは、思う存分日々勉強、奉仕活動などを通して自己研鑽に励んでおります。部活動では、文芸部、かるた部、放送部等が全国大会出場を果たし、他の部活動も生徒自身が、高い目標をもって活動しております。平成27年度には文部科学省より(全国123高校のひとつとして)名誉あるスーパーグローバルハイスクールの指定を受け、修道女の方々がそうであったように、世界で通用できるグローバル人材の養成に励むべく日々努力している次第です。一方、少子化が進み、思うように定員確保が難しい状況も近年続いております。そこで今後、奉仕の精神を国際社会で発揮できる人材を育成すべく、教育・研究のさらなる高度化とそれを推進するための施設・設備をより充実させるため、在学生、卒業生、教職員及び一般の方々へ幅広く寄付金を募ることいたしました。是非、趣旨を御理解賜りましてご協力の程宜しくお願い致します。

使途 ●生徒・児童・園児支援資金 ●教育環境整備資金 ●緑化関連事業資金

募集要項 受付期間：2022年4月1日～2023年1月31日

受付方法：本学園ホームページの申込フォームにて受け付けております。

今年度よりクレジットカード、コンビニ決済、Pay-easyでのお支払いが可能になりました。是非ご利用ください。



※詳細につきましては、本学園ホームページをご覧ください。なお、FAX・郵送でも受け付けておりますので、事務局募金担当にお問合せください。(TEL 022-777-5777)

仙台白百合学園 学園報

学園からのニュース・お知らせ

News & Information

卒業生の近況・在校生の皆さんへ

神戸女学院大学 人間科学部 心理行動科学科 入学 生駒 朱梨



皆さん、こんにちは。私はこの春に神戸女学院大学人間科学部心理行動科学科に入学しました。今年度から全ての授業が対面となり、毎日充実した日々を送っています。1年生の今は、必修授業が中心で、週に4時間ある英語の授業やIT基礎演習、キリスト教概説などがあります。私は、臨床心理学と人間という授業が一番興味深く、毎回の授業を楽しみにしています。この授業では臨床心理学の観点から、脳や体の動き、睡眠と夢などを学びます。高校の授業とは大きく異なり、未知の領域を学ぶことができ、楽しく感じています。地元から遠く離れた地であるため、最初は慣れないことも多く大変でした。ですが、同じ学生寮で生活する仲間や新たな友達と出会い、実り多い大学生活を送っています。

仙台白百合学園での日々は、私にとって貴重な時間であったと感じています。そこで出会えた先生方や友達は、かけがえのない存在です。私は、学園で学んだ愛の精神を卒業した今でも持ち続けて、自立した女性になりたいと思っています。限りある仙台白百合学園での時間を大切に、目標に向けて出来る限りの努力をさせていただきます。その頑張りは必ず未来に繋がるはずで、皆さんの幸せを遠くからお祈りしています。

上智大学 文学部史学科 入学 千葉 愛子



私は現在、上智大学文学部史学科に所属しています。大学生になり、仙台白百合学園での日々を思い起こしてみると、学園生活で学んだことの積み重ねが大学での学びに繋がっているように感じます。大学の授業は高校とは全く違い、専門性と応用性が問われます。また、教授によって授業のスタイルが全く違うので一つ一つのタスクを自己管理し期日厳守でなければいけません。すべてが自己責任の世界になるため、勉強も遊びも自己判断です。これこそが大学生活の良いところであり、気を付けなければならないところだと感じます。私は史学科なので大学で歴史学の研究をしていますが、やはり自分の興味のあることについて専門的に学べるので大学の授業はとても面白いです。現在は、学寮でほかの大学生と共同生活をしています。年齢も大学も違う人たちと暮らし、規律正しい生活をしながらみんなで勉学に励んでいます。他の大学の人と関わる機会はとても貴重な体験です。今後は、教職課程を履修しながら歴史学の研究を進めていきます。教職課程と自学科の勉強に加え、サークルの練習やバイトの両立はとても大変ですが、大学で好きなことを学べている楽しさで乗り切っています。皆さんも学園生活を通して大学で学びたいと強く思えるものを見つけてください。学びたいという強い意志がないと大学生活は成り立たないと実感しているので、沢山のことをこの学園で吸収してください。応援しています。

令和3年度 大学合格状況

種別	学校名等	合格数(名)	種別	学校名等	合格数(名)	種別	学校名等	合格数(名)	種別	学校名等	合格数(名)	
国立大学	東北大学	2	私立大学	関西医科大学	1	私立大学	台湾	1	留学	台湾	1	
	東京外国語大学	1		関西外国語大学	2		日本歯科大学	1		Florida International University	1	
	横浜市立大学	2		神戸女学院大学	1		法政大学	2(2)		エンカレッジコース(通信制課程)		
	仙台白百合女子大学	9		武庫川女子大学	2		武蔵野大学	1		種別	学校名等	合格数(名)
	白百合女子大学	2		日本経済大学	1		津田塾大学	(1)		仙台白百合女子大学	4	
	東北学院大学	4		福岡大学	1		立教大学	3(1)		白百合女子大学	2	
	宮城学院女子大学	3		立命館アジア太平洋大学	1		聖和学園短期大学	2		東北文化学園大学	1	
	東北医科薬科大学	3		青山学院大学	3		仙台青葉学院短期大学	2		東北学院大学	2	
	東北工業大学	1		学習院大学	1		女子美術短期大学部	1		東北生活文化大学	2	
	東北芸術工科大学	1		恵泉女学園大学	1		武蔵丘短期大学	1		慶應義塾大学	(1)	
岩手医科大学	(1)	実践女子大学	1	海上保安学校	1	大阪芸術大学	1					
日本医療科学大学	1	上智大学	6(1)	東京法律公務員専門学校	1	明治学院大学	1					
日本薬科大学	1	成蹊大学	1	東奥保育福祉専門学校	1	札幌学院大学	1					
流通経済大学	2	成城大学	(1)	マイナビ仙台レディース	1	津田塾大学	1					
千葉科学大学	1	聖心女子大学	1	自衛官一般候補生 航空	1	岩手保健医療大学	1					
昭和大学	(1)	拓殖大学	1	自衛官候補生	1	フェリス学院大学	1					
山梨学院大学	1	玉川大学	2	株式会社 GREEN RIBBON	1	学習院女子大学	1					
金沢工業大学	1	中央大学	(3)	台湾弘立元智大学	2	聖和学園短期大学	4					
京都外国語大学	1	東京家政大学	1	台湾弘立中原大学	1	専門	仙台保健福祉専門学校	1				
						就職	調剤薬局	1				